# 鈴鹿川水系　内外水統合型の水害リスクマップ
# 【現況河道】

浸水が想定される範囲を表示

1．説明文

（1）この水害リスクマップは、流域治水の推進を目的として、年超過確率1／10、1／30、1／50、1／100、1／150の降雨により浸水した場合に想定される多段階の浸水想定図を重ね合わせたものであり、年超過確率ごとの浸水範囲（浸水発生）を示した図面です。

（2）この水害リスクマップは、現況の鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河道、洪水調節施設及び雨水排水施設の整備状況を勘案して、年超過確率1／10、1／30、1／50、1／100、1／150（毎年、1年間にその規模を超える洪水が発生する確率が1／10（10％）、1／30（3％）、1／50（2％）、1／100（1％）、1／150（0．7％））の降雨に伴う洪水により鈴鹿川流域（一部、天白川・金沢川流域含む）の河川・下水道が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより算出したものです。

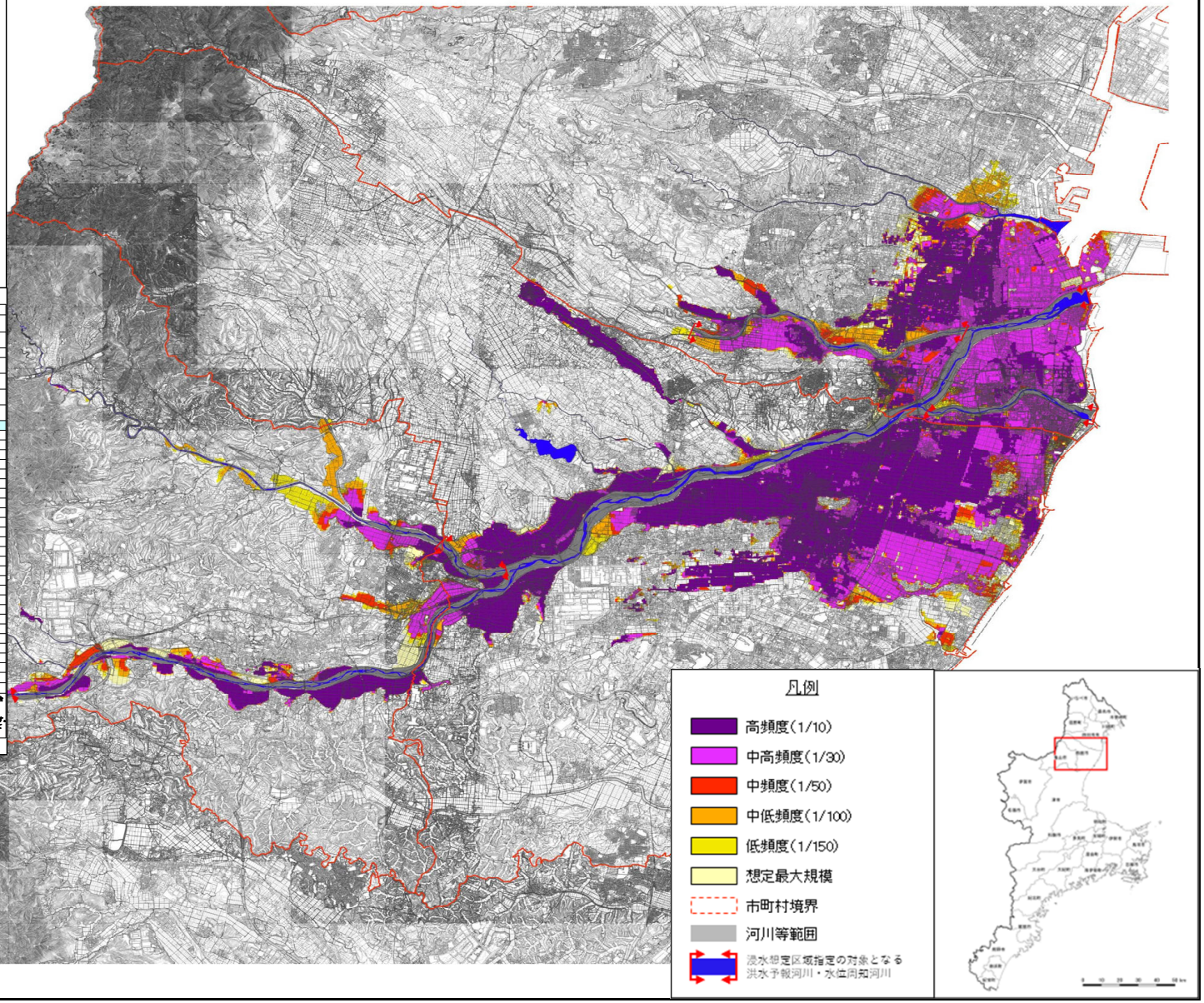
（3）このシミュレーションの実施にあたっては、高潮による氾濫を考慮していません。また、前提となる降雨や河道条件、地形条件等によってシミュレーションの結果は異なり、あくまで一つのシミュレーション結果ですので、この水害リスクマップに示されている年超過確率と浸水頻度が異なる場合や、浸水範囲に含まれていない地区においても浸水が発生する場合あります。
　また、下水道からの氾濫は、塩浜地区、稲地区、河原田地区、内部地区、東御幸地区、金沢地区を考慮していますが、雨水出水浸水想定区域図とはシミュレーション条件が異なるため、雨水出水浸水想定区域図とは異なる浸水範囲・浸水深・浸水継続時間となっています。なお、このシミュレーションは、鈴鹿川水系河川整備基本方針の基本高水検討時の降雨波形（鈴鹿川中下流・鈴鹿川派川：平成7年5月型、鈴鹿川上流：昭和28年9月型、内部川：昭和40年9月型、安楽川：昭和36年6月型）や三重県洪水浸水想定区域図検討時の計画規模での降雨波形、各河川流域・下水道排水区域の特性・被害リスク等に基づいて設定した降雨波形等を用いているため、河川整備計画の策定時又は各種事業計画立案時に事業効果を説明するために用いたシミュレーション結果とは異なる場合があります。

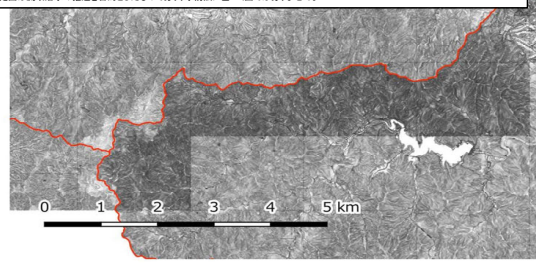
（4）想定最大規模の浸水範囲は、水防法に基づき平成28年12月に指定・公表したものを表示しているため、河道条件が異なります。

2．基本事項等

| | | |
|---|---|---|
| （1） | 公表年月日 | 令和8年3月31日 |
| （2） | 作成主体及び対象となる河川 | 作成主体　：国土交通省中部地方整備局三重河川国道事務所<br>対象河川　鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川、後川、天白川、香川、浜郷川、宿山川、後川、芳川、菅川、相川、小瀬川、春岡川、小臼川、見見川、藤谷川、金沢川 |
| （3） | 背面氾濫（主要河川のみ想定） | 鈴鹿川水系鈴鹿川 | 左岸：三重県鈴鹿市国府町字中谷2411番地先から鈴鹿川への合流点まで<br>右岸：三重県鈴鹿市国分町字三千坊2017番地先から鈴鹿川への合流点まで |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川派川 | 鈴鹿川からの分流点から鈴鹿川への合流点まで |
| | | 鈴鹿川水系内部川 | 左岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字中ヨ10番地先から鈴鹿川への合流点まで<br>右岸：三重県鈴鹿市神戸1丁目1番地先から鈴鹿川への合流点まで |
| | | 鈴鹿川水系安楽川 | 左岸：三重県鈴鹿市南玉垣町字中ヨ1742番地先から鈴鹿川への合流点まで<br>右岸：三重県鈴鹿市神戸1丁目2番地先から鈴鹿川への合流点まで |
| | | 鈴鹿川水系後川 | 左岸：三重県鈴鹿市住吉町字中島346番地先の下水路から鈴鹿川への合流点まで<br>右岸：三重県鈴鹿市住吉町字中島346番地先の下水路から鈴鹿川への合流点まで |
| | | 天白川水系天白川 | 左岸：三重県鈴鹿市末広町から天白川まで<br>右岸：三重県鈴鹿市若宮町内田から天白川まで |
| （4） | 算出の前提となる降雨 | 年超過確率1／○の流域治水の降雨 | 1／10 | 1／30 | 1／50 | 1／100 | 1／150 |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川、鈴鹿川派川、内部川、安楽川（国管区間） | 163mm/6hr | 196mm/6hr | 211mm/6hr | 249mm/6hr | 268mm/6hr |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川 | 114mm/3hr | 144mm/3hr | 167mm/3hr | 175mm/3hr | 186mm/3hr |
| | | 天白川水系天白川 | 79mm/hr | 89mm/hr | 97mm/hr | 107mm/hr | 115mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川（設定区間） | 111mm/3hr | 139mm/3hr | 151mm/3hr | 168mm/3hr | 180mm/3hr |
| | | 鈴鹿川水系内部川（設定区間） | 112mm/3hr | 139mm/3hr | 151mm/3hr | 167mm/3hr | 179mm/3hr |
| | | 鈴鹿川水系安楽川（設定区間） | 111mm/3hr | 140mm/3hr | 155mm/3hr | 174mm/3hr | 187mm/3hr |
| | | 鈴鹿川水系後川 | 57mm/hr | 83mm/hr | 90mm/hr | 99mm/hr | 106mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川 | 66mm/hr | 77mm/hr | 88mm/hr | 94mm/hr | 96mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川 | 65mm/hr | 77mm/hr | 85mm/hr | 88mm/hr | 95mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川 | 65mm/hr | 77mm/hr | 83mm/hr | 89mm/hr | 95mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系芳川 | 102mm/3hr | 132mm/3hr | 147mm/3hr | 167mm/3hr | 180mm/3hr |
| | | 鈴鹿川水系後川 | 66mm/hr | 90mm/hr | 102 mm/hr | 122mm/hr | 129mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系鈴鹿川 | 66mm/hr | 90mm/hr | 102mm/hr | 122mm/hr | 129mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系小瀬川 | 66mm/hr | 90mm/hr | 102mm/hr | 122mm/hr | 129mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系春岡川 | 67mm/hr | 83mm/hr | 90mm/hr | 99mm/hr | 106mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系小臼川 | 67mm/hr | 83mm/hr | 90mm/hr | 99mm/hr | 106mm/hr |
| | | 鈴鹿川水系見見川 | 96mm/3hr | 124mm/3hr | 137mm/3hr | 165mm/3hr | 186mm/3hr |
| | | 鈴鹿川水系藤谷川 | 104mm/3hr | 127mm/3hr | 139mm/3hr | 162mm/3hr | 181mm/3hr |
| | | 金沢川水系金沢川 | 94mm/3hr | 120mm/3hr | 133mm/3hr | 161mm/3hr | 182mm/3hr |
| | | 下水道等（鼓田地区） | 189mm/12hr | 221mm/12hr | 240mm/12hr | 264mm/12hr | 273mm/12hr |
| | | 下水道等（稲地区） | 181mm/12hr | 214mm/12hr | 227mm/12hr | 244mm/12hr | 259mm/12hr |
| | | 下水道等（河原田地区） | 218mm/24hr | 265mm/24hr | 290mm/24hr | 322mm/24hr | 340mm/24hr |
| | | 下水道等（内部地区） | 67mm/hr | 83mm/hr | 90mm/hr | 99mm/hr | 106mm/hr |
| | | 下水道等（東御幸地区） | 66mm/hr | 90mm/hr | 102mm/hr | 122mm/hr | 129mm/hr |
| | | 下水道等（金沢地区） | 94mm/3hr | 120mm/3hr | 133mm/3hr | 161mm/3hr | 182mm/3hr |
| （5） | 河道等条件 | 現況（河道・洪水調節施設・下水道施設） |
| （6） | 調査命年 | 令和8年度、鈴鹿市、亀山市 |
| （7） | その他計算条件等 | ①この図は、主要河川（鈴鹿川（鈴鹿川派川含む）、天白川）以外の一級・二級河川・下水道等（内部川、安楽川、後川、春岡川、小臼川、見見川、藤谷川、金沢川）で氾濫した場合の浸水想定範囲を表示しています。<br>②この図は、鈴鹿川水系の河川の周辺から上流に向かって、一定の条件で氾濫・被害させた上で氾濫解析計算結果を基に作成したものです。<br>③氾濫計算は、対象流域を約25m間隔の格子（計算メッシュという）に分割し、これを1単位として水深を計算しているため、微地形による影響が反映できない場合があります。<br>④洪水流量流量は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の浸水深を算出し、前回すき計算メッシュとの湛水地・不湛水地（盛土や低湿の盛土など）等を考慮して算出しています。 |

※この浸水想定図は流域治水の推進を目的としたものであり、水防法に基づく図ではありません。




この地図の作成に当たっては、三重県市町総合事務組合管理者の承認を得て、同組合発行の「2017三重県共有デジタル地図」を使用した。（承認番号 三総合地第１４号）